

# 令和6年度 滝川市社会福祉協議会事業計画・予算

「お互いが思いやり・見守り・支えあう地域づくりをめざして」

## 権 利 擁 護 事 業

誰もが人格と個性を尊重されるように、日常生活に不安のある人に対し、成年後見制度や福祉サービスの利用援助を行い、その人がその人らしく安心して暮らすことができるように事業を展開するとともに、権利擁護支援のための地域連携ネットワークの中核機関として、必要とされる方が制度を利用できるように更なる事業推進を目指します。

尊厳とは、尊くおごそか、気高く犯しがたく、その人の人格を尊いものと認めて敬う、「自分は生きていて良いのだ」という包括的な自由権や幸福追求権が誰にでも平等に与えられています。このような背景のもとに、成年後見制度が認められ、今日に至っておりますが、その充実策として市民後見人養成講座の開催をはじめ、支援員の方々の活動支援や研修の実施、支援員登録者のフォローなどについて専門員が支援し、体制の充実を図ってまいります。

## 災害ボランティア活動への取組

一般的なボランティアについては、日頃より市民の皆さんの参加で活発に活動されています。しかし、人口が減少傾向で参加者の高齢化が顕著であり、今までのような活発な活動を望むことは不可能と思慮されます。

また、今年1月の能登半島地震のような災害がいつ起きるとも分からず、備えに万全を期さなければならぬ状況であります。活動を希望する方々へのきめ細かな対応をはじめ、関係機関等の連携、地域での様々な要望に対し適応できるように努力してまいります。

## 介 護 事 業 の 充 実

訪問介護、障がい福祉サービス、居宅介護支援の3事業を、介護保険制度により取り組んでおりますが、近年の人口減少、高齢化、そして諸物価の引き上げ、さらにはヘルパーの高齢化等で、運営は厳しく困難を極めています。

高齢化率が上昇し、在宅にて利用の希望者も増加傾向にあります。このような状況から一層の需要が見込まれており、関係機関や各事業所等と連携・調整を図り、鋭意取り組んで参ります。

収入	(単位：円)	支出	(単位：円)
介護保険事業収入	62,680,000	社協活動拠点	64,124,000
障害福祉サービス等事業収入	20,055,000	法人運営事業	34,170,000
会費収入	3,059,000	地域福祉事業	3,412,000
経常経費寄附金収入	280,000	企画広報事業	1,032,000
経常経費補助金収入	18,000,000	ボランティアセンター事業	7,043,000
受託金収入	57,604,000	生活あんしんサポートセンター事業	18,467,000
事業収入	777,000	受託事業拠点	41,813,000
貸付事業収入	600,000	配食サービス事業	24,395,000
共同募金配分金収入	2,889,000	友愛訪問サービス事業	5,412,000
負担金収入	270,000	福祉除雪サービス事業	12,006,000
受取利息配当金収入	18,000	介護事業拠点	105,288,000
その他の収入	60,000	訪問介護事業	54,820,000
施設整備等による収入	0	障がい福祉サービス事業	20,055,000
その他の活動による収入	43,069,000	居宅介護支援事業	30,413,000
合 計	209,361,000	合 計	211,225,000